

【アンケート内容】

【1】「小さき声のカノン ―選択する人々―」映画鑑賞に基づく鎌仲監督トークの感想をご自由にお書きください

【2】環境教育 B 研修会についての感想をご自由にお書きください。

【1】日本でも起きた放射能の怖さを痛感した。映画を通して、子どもたちのお母さんが除染をする姿を見て頼もしさを感じた。また甲状腺ガンのことを以前聞いたことがあり、原発前と後ではだいぶ違い、実際に起きている現実がとても怖かった。一度起きてしまった原発事故…二度と同じことを繰り返さないためにはどうすべきか…子どもを守るために動くお母さんが多く、感動した。また広島原爆の何十倍もの被ばく量と聞きものすごく驚いた。もっと放射能について知り、少しでも知識をつけたい。

【2】様々なテーマがあり、どれも印象深かったです。

【1】「子どもを守る」「命を守る」ための選択は、健康面も大切だが家族の平和という観点から見ることも大切で、みな苦汁の選択をしているのだと思う。自分自身が被ばくについてよく知らなかった。もう一度勉強する必要があると思った。

【2】第一回「食の安全について」食に対する危険性は分かっているつもり。その中から何を々選ぶのが大切であって「あれも危険、これも危険」ではどうしていいのか分からない。これをどうするのかは各々の選択なのかもしれないが。

【1】家族や子どもを守りたい思いから非難したくてもできない人がたくさんいると知り心が痛くなった。子どもたちを守るために保養という制度を採っていることを知った。不安が亡くなることは無いかもしれないが1人でも多くの子どもたちを守り、安心して暮らせる日が来るといいと願っている。目に見えない危険がたくさんあり、自分が被ばくしてしまったらどう生きていくのか。どう子どもたちや家族を守っていくのか深く考えさせられた。自分にできることは何か考えて、早く福島の人たちの笑顔が増えるよう取り組みを考えたいと思う。

【1】映画の中で実際の体験の中から殻たれている人々の言葉は色々と考えさせられるものばかりでした。考えると様々な矛盾を感じました。人としてどういう生き方を選択していけばいいのか…考え続けていかなければいけないと感じました。

【2】今年度の研修は 3 つの異なる分野のお話が聞くことができ、色々な意味で日々の生活の中で見過ごしていることを感じたり考えたりすることができました。ありがとうございました。

【1】被災された人を非難する方の言い分も、被災された人の言い分も理解できるのに答えが出ないジレンマが辛い。我が家は子どものために放射能を懸念して東北産の食品は買わないようにしている。そんな当たり前に「我が子の幸せ」を選択することで、どれだけ東北の方を経済的、心理的に苦しめているのかを思うと申し訳ないと思ってしまう。また将来、自分の子どもが結婚相手に東北の人を連れてきたら親として悩むだろうな…とも正直思ってしまう。子どもの幸せを願えばこそその思いが、東北の人を何かしら傷つけている現実が悲しい。また「保養」という制度を科学的根拠も含めながら認知されるべきだと感じた（それがとても大変なことなのだが。） 「税金で慰安旅行？」と思ってしまう人間もいるはずだ。原爆から高度成長期までやってこられた日本人だからこそその驕りがどこかにあると感じる。

【1】放射能から身を守るために福島のお母さんたちがこんなにも頑張っていたこと、何も知らなかったこと、心が痛みました。

私たちに何ができるのか分かりませんが、福島の現状を知ることができて本当に良かったです。

【2】研修会に参加する前はなんだか難しそうな研修…と思っていましたが、参加してみると興味のある内容ばかりでとても参考になりました。

【1】鎌仲監督の真実を追う姿に敬服しました。

今後もしろいろ教えてください。

【2】3回の研修会すべてで、自分が知らない内容であった。だからとても新鮮に感じた。素晴らしい講師のお話が聞けました。ありがとうございました。

【1】今まで新聞で福島の子たちが北海道に保養に行くといった事は知っていましたが、今日の映画を観せていただいて、それがどの程度大切な事なのかということを知りました。自分に何ができるのかももう一度考えてみたいです。

【1】知ること会うことがしくて高知から参加させていただきました。

映画を観れたこと、鎌仲監督のお話が聞けたこと、とても良かったです。できることの一步を微力ながら歩みと行動を重ねたいと思います。

参加させて頂いて心から感謝申し上げます❀

【1】ただただ子どもを守るためにへこたれず、地道に前向きに動き出したお母さんたちにエールを送り続けたい。フタをせず、あきらめず、ずっと言い続ける、伝える続けることが私たちの役割だと思います。国にも言い続けること！終わりのない連鎖を止めることを、これから見えてくるものの真実を見届けていくこと。

【2】共に生きていく環境を守ることはこれから子どもに伝えるべきことだと思います。守っていける大人となる子どもの教育をするべき保育者でありたいと思います。

【1】最後まで入れずにすみません。本日所要にて失礼します。子どもたちが放射能、セシウムなど言葉を覚え意識していることが、愛知県とは違い、その分いろいろな場面でストレスを抱えていると思った。

【2】どれも貴重なお話ばかりで勉強になりました。食べ物の摂取について、自分の中でまだ整理がついていません。もう少し自分の中で考えていきたいと思っています。

【1】 福島の事をほとんど気にしないで、私達は生活していることを改めて感じました。

【2】 私達は何も知らされていないこと、この環境教育 B に参加して改めて感じる機会になりました、自分の知らない事を学ぶ機会になりました。ありがとうございました。

【1】 こんなに子どもたちや人々に被害が出ていることにおどろいた。

【2】 自分が知らなかったこと、世界を知ることができて、とてもためになった。これからの日本を担う子どもたちのため、自分の生活を見直すために自分のアンテナをはって、知らされないようにされていることを知っていこうと思った。

【1】 保養している事をしりませんでした。内部被曝のことを考えたいと思います。

【2】 いつも社会での問題を取り上げてもらい、新しい知識をありがとうございます。

【1】 この映画のことを新聞で知り、待っていました。名古屋の娘は私の情報で今日の上映を心待ちにしていました。”保養”という現在の言葉の意味を知りました。裸足で走り回る子どもの笑顔、こんなことも出来ていなかったなんて...まともな国に戻さないといけないね！ 子どもたちを守りたいから！ 何でもいから行動すること！ 今の政治家はおかしいですね。歯がゆい、情けない、悲しいです。

【1】 核の話を科学的に説明頂き、興味深く聞くことができました。内部被曝に関して、自分からもっと情報を得ていきたいと思います。

保育や教育の専門的な研修会と異なり、普段自分では興味のなかつた分野などからのアプローチで、とても貴重な研修会でした。これを期に自分も視野を広げていきたいと思いました。

【1】 福島原発につきて全く知らないことばかりで、今もこれからも苦しんでいる人たちがいる。そのことに驚くばかりでした。政府が知らぬふりをしているのか、知ろうとしていないのか、不思議です。

【1】 率直に見られてよかったです。存在することを肯定する映画かと思っていましたが、住むべきでない場所だというメッセージだと受け取り、救われました。国がほんとうに皆のために動いてくれたら一番ですが、まずは自分の一歩だなと思いました。

【2】 日常を暮らしているだけでは、耳や目に入らない事実を知る機会をいただけてよかったです。

【1】 真実、事実を知ることには無知にはならない。原発はなくすべき。これは当然のこと。つらい、むずかしいが、「子ども」のため、子ども中心に考えるなら、私はふるさとをはなれると思います。

【2】 とても「人間とは」という哲学的な問いかけをする研修会でした。日本という国は、どこまでいっても資本主義社会です。人を最も大切にするとはいえ、すべての人間に万全に対応するシステムは不可能です。とにかく「環境」の現状、事実、真実を知ることが、子どもをとりまく環境を考えるきっかけにはなると思いました。

【1】・“普通の人に力がある”の言葉がとても大きなもののように感じました。“生まれてきたから”の歌、とてもステキですね。

【2】色々、企画して下さいっていて感謝しております。

【1】チェルノブイリ原発事故について、言葉は知っていても詳しいことは何も知らなかったもので、今回の映画を観て少しではあるけれど知ることができました。同じ日本の中で、食べるものや遊ぶ場所など、こんなにも細かく考えなければいけない人たちが多くいるのか、と改めて考えさせられると共に、今いる環境が安全であることの幸せを強く感じました。

【2】3回の研修会に参加し、自分の教養を深める機会になりました。様々な視点から考えることができたので、これからの自分の視野をもっと広げていきたいと思います。

【1】原発事故から4年経った今でも、まだまだ事故による影響があり、その影響を完全に無くすまで、途方もない時間と年月がいること、それらの現実に立ち向かう人々の苦悩さに胸が苦しくなりました。1日でも早く、福島の子どもたちが何の不安もなく外で裸足になって遊べるようになってほしいです。日本の政府は何をしてくれているのか…。見捨てているようにしか思えてならないです。

【2】教育とはまた違う話を聞くことができ、勉強になると共に、今後どのように保育していくか、自分のできることは何か、毎回考えさせていただける話しでした。

【1】ぜんぜん知らないことがいっぱいでした。特にかんとくの話はもっとたくさんききたかった。

【2】今年も知らないことをたくさん教えてもらえる研修になりました。

【1】選択をせまられる大人にもすごい色々な考えがあるんだと思った。話を聞いていると日本の話じゃないと思うくらいすごいつらいと思った。

保養をしっかりすべきと思う。

【2】私にはすごく難しいこともあったが勉強になった。

園でみんなに話したいなと思った。

【1】真実・事実を知ることが、無知にならない。原発はなくすべき。これは当然のこと。つらい、むずかしいが子どものため。子ども中心に考えるなら、私はふるさとをはなれるとおもいます。

【2】とても「人間とは」という哲学的な問いかけをする研修会でした。日本という国は、どこまでいっても資本主義社会です。人を最も大切にするとはいえ、すべての人間に万全に対応するシステムは不可能です。とにかく「環境」の現状、事実、真実を知ることが、子どもをとりまく環境を考えるきっかけにはなると思いました。

【Bシリーズ3回のうち特に印象深かったのは？】

1.現代の食の安全と環境について考える	10 人
2.チンパンジーボノボと人間の子育ての類似点と相違点から見えてくるもの	6 人
3.小さき声のカノン ―選択する人々―	12 人